

25/4/24 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第 65 回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00

姫野保存整備課長：4 月から整備課長 はじめる

渡辺名古屋城総合事務所長：4 月に着任

昨年度延べ 5 回 有意義なご助言いただいた

保存と活用 ご指導ご鞭撻を

2 件 二の丸庭園

令和 7 年度事業予定について

報告 令和 6 年度検討内容

二之丸庭園発掘調査成果

姫野：出席者紹介

瀬口、丸山、小濱、三浦、藤井

（麓欠席）

文化庁渋谷、平澤

教育委員会

名古屋城総合事務所

撮影、録音はここまで

資料確認

報告 資料 I

小村：課長補佐

資料 I

14:07

姫野：意見は

三浦：天守閣部会はずっと開催されていない

なぜか

渡辺所長：開催がない 申し訳がない

天守閣事業 長年熱心なご審議 整備計画まとめてきた

2 年前 バリアフリー市民討論会

差別事案を引き起こした

事業の進め方どうだったのか 局としてまとめている
バリアフリー大事 慎重に議論している
一定整理がつくまでは先に進められないと考えている
部会の議論もストップしている
差別事案 反省に立った取り組み議論している
ご理解いただきますようよろしく

三浦：バリアフリー問題は重要 審議して
天守木造 バリアフリー考えないと
天守閣部会でも諮ってもらわないとこまる
天守閣部会で経緯を聞いていない
天守本体 バリアフリー検討しないと
報告していただきたい
天守閣部会だけやっていない
石垣部会 天守関係石垣やっている
違和感を感じている

渡辺所長：ご意見を踏まえて進めたい

姫野：他は
ご意見ありがとうございます
二の丸発掘成果について

14：11

高橋調査研究センター：発掘報告
調査区Ⅰ すはま状遺構ではなく礫敷
1874 年ごろレンガ
1882 年ごろまでに

14：17

姫野：質問は

瀬口：早くて何かわからなかった まとめて

高橋：調査区Ⅰ すはま状遺構 たたきのテラス面
時期が分からなかった
御城御庭絵図 すはまのような

→レンガ、銃弾などがあった 近代であることが判明
調査区 2 SK 4 あとから穴をあけられた？

姫野：今の説明でよいか

瀬口：調査の目的は？あった結果が得られたのか？

名古屋城：目的は「すはま状」礫敷の時代調査→近代と判明
調査区 2 近代遺構

瀬口：たたき 急に下がっていて礫敷
近世は下に落ちる 常識的にはないと思っていた 確認できたでいいか

高橋：そのとおり

瀬口：細かいところを聞いても全体がわからない

高橋：了解した

姫野：わかりやすく説明したい
その他は
ないようなので議事に移る
進行は座長に一任

14：24

瀬口：議事 I

保存整備課久田：資料 3

雪見燈籠

麓 絵図を基に考えるのはいいが、石材を 2 つまぜるのはしっくりこない

三浦 ニコイチはだめ

古材 よいものはなかった

今回は製作品としたい 高価なものに

修理はあり得る 新材を基本

四角型燈籠

標柱 楷書体

雨落ち

枝折戸
袖垣

14：36

瀬口：ご意見ご質問を
よいか

4 頁 雪見燈籠 絵図 脚 図の 2 の 7 と 9 は同じか

久田：そう 角度が斜め上から
脚は 4 本

瀬口：脚が 4 本 手前にもある

久田：向こう側にもう 2 本が重なっている

瀬口：向こうの脚が大きい？

久田：脚自体が四角形に近い
手前側が見えている

瀬口：私が理解できないだけ
雪見燈籠 I 下に台みたいなのがある？

久田：脚が 3 本

瀬口：どうしてわかったか

久田：どこかに書いてあるわけではない

瀬口：金沢に 3 本あるのと同じ？
どうしてわかるか

久田：ほかの箇所の絵図の書き方 火袋の下

瀬口：金沢のどこの雪見燈籠か
コピーした どこか

久田：確認はしたが

瀬口：この図は誰が書いた？

久田：コンサルタント

瀬口：指示しているんでしょう
どこの雪見燈籠かわからないと

久田：指示した 実際に見に行った

瀬口：図 2 の 13 立ち手水はある？

久田：今ある

瀬口：当初のもの？

久田：よく似たもの 余芳解体

瀬口：実物はすばっと切れている

久田：丸みがある

瀬口：似ているんですね
スクリーン 室内で焦点がわかる
写真の撮り方がわかる
視点場はどう決めたか

久田：10.5 尺

瀬口：焦点はわかった
どこを視点場にしたか

久田：奥行から視点

瀬口：幾何学 数学と一緒に
任意の点から斜めの線を引いた？

久田：余芳設計したときの設計業者

瀬口：解析だから 建物と灯籠の大きさが変わる
どうして決めたのか？
説明できないのならまずい
宝珠がつぶれている？
ものが見えない人は気が付かない

小濱：雪見燈籠 なぜ 3 本脚と 4 本脚があるのか
意味があれば
14 ページ

久田：柱に刺す

小濱：差し石とは

久田：雨が落ちてくると削れる

小濱：敷石みたいなもの

久田：難しいご質問
同じ庭園 3 本脚 4 本脚 大名庭園ある
絵図 これ以外の雪見燈籠精査して
でっぱりは 3 本脚
見え方で 4 本脚

小濱：混在事例があるということか

久田：ある

小濱：分かれ目は 火袋の違い？
3 本脚は六角形？

瀬口：庭園の物語
要所に何を置くかが大事
写真の 2 の 3 脚の開きになる

3 本脚 120 度 4 本脚 90 度

久田さんは絵を描く？ 絵を描こうとするとこうは書かない

脚が 90 度

兼六園 脚が 120 度

絵をやる人 全然違うように見える

絵が正しくないなら

小濱：絵は 4 本

瀬口：工学部だったら 4 本

藤井：火袋が 6 角形

脚が決まらないか

久田：火袋の形で脚が決まることはない

藤井：調べて

三浦：絵図は正確に書かれている

ただ絵師の技量しだい

一般的 六角形 3 本

四角形 4 本 きれいに収まるはず

そうでない事例があるなら探してきて示して

そういう事例がない

瀬口：結論は 3 本でいい？

三浦：よい

瀬口：他は

枝折戸

久田：バランスを見て書いている

瀬口：本数が増えているよう

増やす理由は

久田：図の6の7

瀬口：ケチる お金がかかる
メンテナンスが長くなるように

三浦：瀬口座長 枝折戸見た
北側 絵と全然違う
立体物を平面に書くのは難しい
絵師 腕がいい
北側 感覚がめちゃくちゃ わざと乱れている
本当に乱れている可能性
形が違うのでは
絵は縦長
復元では正方形
絵を全体的に見て
平面的なところは正しく書いてある
野趣を出したのでは？
縦長の菱格子 強度的には強くなる
日本の古典的美術 崩れかかったもの
きれいな格子を見つけたらわざと書いた

久田：参考にさせていただく

瀬口：野趣 枝折戸

三浦：なぐりが入っている なた

瀬口：西側 柱の高さも変わっている
今の造園 同じ高さに
1時間立ったら休んでと言われた

渡辺：はい

瀬口：15：20 から再開
15：10

15：20

瀬口：再開する

雪見燈籠 3 本脚

余芳 写真では曲がっている

標柱 実際の絵図 寸法は？

久田：絵図 ちょっと 20 センチ

瀬口：20 センチもあるのか

南という字は 20 センチ？

正確に書かれている

そういう説明はあったか？

久田：ない

瀬口：情報を得られるといい

枝折戸

次回に送らないで今日でよいか

現状変更的な意見が出たが、収められる感じ

現状変更許可に進めて

議題 2

小村：事業予定 想定期間を青色のバーで示した

園内サイン改修 10 月付議

2 ページ目 対象範囲を図示

このように進めたい

瀬口：今年度事業予定

ご意見は

特にないか

せっかくだから 各部会開催結果

石垣部会 天守台石垣保存対策 何回も議論

どうなったか報告はあったか

保存整備課上田：北側 U65 工事昨年度今年度行っている

西側 U66 鵜の首 S10 工事したい

5 月くらい 鵜の首地盤調査

安全対策 計画している

来年度お諮りしたい
次の石垣

瀬口：天守台石垣そのものは何年後？10年後？

上田：答えるのは難しい

瀬口：当てがえない？

上田：順番

瀬口：計画はあるのでは
何年かかるかわからないのでは、
市民に対して無責任では

上田：まずは人が通る

渡辺所長：天守閣整備事業に関する
対象の石垣 状況を調査して応じて人命安全、石垣状況に応じて
優先順位をつけて
順番にやっていく そこまでしか申し上げられない
天守閣事業 三浦先生からお話しいただいた
ちょっと立ち止まっている
先に進められれば、解体 穴蔵石垣をみて対策を練っていく
整備計画 手順、順番 盛り込んでいる
年次でどうなのか 見通してお示しできない

瀬口：新任の方に言って申し訳ない
バリアフリーは議論
石垣 5年前に調査すると言って始めた
バリアフリーと関係がない
現天守を壊さないと調査できない
壊さずに調査は終わったのか

長谷川：天守台 必要な調査はおおむねした
対策をどうするか
ボーリング調査が必要 させていただく

追加で調査が必要 想定

瀬口：天守台そのものの調査は終わっているのか

長谷川：背面空隙がないか そもそも表面状態 ひとつおり終わっている

瀬口：こういった調査が残っているか

長谷川：前に積まないといけない場合、地盤確認

瀬口：構造計算が終わっているのでは

計算するしかない 調査なんて 石垣そのもの影響

すでにできる コンクリート天守存在している状況で終わっているか？

長谷川：できる調査はした

瀬口：断言できる調査はした？

長谷川：ご指摘いただいたとき

瀬口：10年かかったらどうするのか

ご指摘は別として、事務局として考えられる調査は終わったのか
有識者個人の意見を聞いているわけではない

渡辺：整備計画 令和5年6月 一定お認められた

石垣を整備 状況と優先順位 整理した

十分か？まだまだ

瀬口：新任の方ではわからないと思う 答えられない

経緯が分かっていない

何をやらないといけないのか

すべてやり切ったのか 総合事務所として判断する

有識者から意見ができれば議論

総合事務所としての意見が見えない

ボーリング調査 コンクリート建物があればできない

違うところ

課題 天守閣部会では検討済み

印象ではダメ
構造的に言えるか
ほかのところ 何をしないといけないか 整理しないと
「整備計画がある」 知っている
5 年前に始めたが、5 年たって変わっていない
やり切ったか
有識者の意見を聞けばいい
言われるままではダメ 互角にやって

渡辺：現状どこまでできているか 今後どうするか 答えられるように

瀬口：解体をどうするか バリアフリーの前に
どうするか 整理してあるはず
一つずつクリアしないと
名古屋市民 年間 2 万人死んでいる もう 10 万人名古屋市民死んでいる
あと 5 年たつと 10 万人亡くなる
委員でも亡くなった方がいる
スケジュール感を示した方がいい
文化庁に出すのに バリアフリー 天守閣部会で議論すればいい
決まったものを天守閣部会に諮るのか

渡辺：技術的な検討はしている
そのまえ 2 年前差別事案 その場に関する総括が最優先

瀬口：私は全然知らない
市が対応すればいい
バリアフリーは天守閣部会で議論すればいい

渡辺：今後議論
天守閣自体のバリアフリー ご提言
前段で過去の反省をやらせていただきたい
その次のステップ ご相談したい
従来バリアフリー検討 やれるところは同時並行で
一義的には目の前の反省

瀬口：いつ終わるのか

渡辺：今やっている

瀬口：今年度予定にない
バリアフリー 構えが見えない

渡辺：一切記述がない
口頭だけで話 心苦しい
まずは市役所の中での整理している

瀬口：市役所の中での整理だけでは追いつかない
木造復元の意義 議論しないと

渡辺：名古屋城のバリアフリーの意見は先生にお伺いしたい

瀬口：職員は意義を勉強して
構成員の意見を聞くだけじゃ
文化財としてよいのか
文化庁がダメと言ったらだめ
ひっくり返すくらいの研究をして
有識者の意見を聞くだけじゃ
障害者全員が納得するのは難しい
4月からだと難しいと思うが
事業予定 天守閣部会でも議論
バリアフリー どこかの部会で議論
全体でも出す
黙っていては進まない
このスケジュール イメージが変わるといいな
ほかにはないか
文化庁にコメントを

渋谷：事業予定 話があった
いくつも大きなもの
前年度から引き続き
一筋縄ではいかないような事業 着実に整備を
いろいろ取り組んでいくことがある
4月当初のイメージ いろんな事業が入ってくると思う
本日議事 絵図の取り扱い 名古屋城 絵図を含めて豊富な史料がある

史料批判ではないが、内的な構造を読み取って

平澤：二之丸庭園 余芳再建 形ができてきた

回りの造作 元の姿がどうだったか

庭園部会、全体会議 整備工事が進んでいる

状況を報告 助言もいただきながら進めて

令和7年度11項目 そのほかにも検討がある

進捗状況 関係について全体会議の場で構成員に情報提供して
年度始まったところ 事業が動いていく

進捗管理気を付けて

15：47

姫野：ありがとう

終了